

広報

心の通う福祉のまちづくり



# さつま町ふくし

No.15

平成22年3月発行

発行・編集

社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会  
さつま町宮之城屋地2117-1（宮之城ひまわり館内）

TEL 0996-52-1123  
FAX 0996-52-1148

梅の花が満開になり、春の到来を感じさせます。

四季の移り変わりは、大変美しいものですね。

（平成22年2月22日、国道504号沿いにて）



雪が、丸一日降り続けるのは、何年ぶりだったでしょうか。さつま町全域が、真っ白に染まりました。

ひまわり館も雪かきに追われました。

（平成22年1月13日、ひまわり館にて）

## 「よつてみんそかい」 市場サロン

柏原地区 市場公民会

代表者 吉留 順子



「よつてみんそかい」市場サロンは、市場公民会にあり、近くに柏原小学校、農産物直販所の自慢館、柏原・湯田の温泉があり、少し足を伸ばせば、宮之城市街地の商店街も利用できる便利な地区に位置しています。

公民会は五十六戸で集落内に町営団地ができておらず、夫婦高齢者、一人暮らしの高齢者が増えつつあります。昔ほど、同じ集落内でも会って話をする機会が少なくなった今日、集落仲間で、お互いに元気を確認でき、楽しく笑い、話し合える集まりをつくろうと、公民会と高齢者クラブの協力の下、名のとおり「よつてみんそかい」市場サロンが発足し、五年目を迎えます。

現在、会員は三十名、サポート一員（健康推進員を含む）五名、専任講師一名です。幸いに、私たちのサロンは集落内に、脳の健康体操の講師の大園早苗さんがいらっしゃいます。他のサロンへも講師で行かれますので、ご存知の方もいらしゃると思っています。その大園さんが中心となつて、いつも明るく会員の方々を元気付けてくださいます。いつも笑い声が絶えません。ある会員の方は、「一人で家にいても、声を出して笑うこともない」と、話していました。サロンに参加すると、笑いや語り合いがあります。だから、楽しく元気になるのでしょうか。

五名のサポートの方は交替で、無理をせず、気軽に参加して手伝い、会員の皆さんから知恵をもらい、学び、元気をいただいています。

年間の活動は、毎月一回、集落公民館で開催しています。その内容は、歌やゲーム、グランドゴルフ、また、忘年会や福祉バスを使った研修旅行、

現在、会員は三十名、サポート一員（健康推進員を含む）五名、専任講師一名です。幸いに、私たちのサロンは集落内に、脳の健康体操の講師の大園早苗さんがいらっしゃいます。他のサロンへも講師で行かれますので、ご存知の方もいらしゃると思っています。その大園さんが中心となつて、いつも明るく会員の方々を元気付けてくださいます。いつも笑い声が絶えません。ある会員の方は、「一人で家にいても、声を出して笑うこともない」と、話していました。サロンに参加すると、笑いや語り合いがあります。だから、楽しく元気になるのでしょうか。



会員の方々は、毎月のサロンを楽しみに待つていらっしゃいます。これからも、皆さんが明るく、元気に過ごせるように、笑い声のある楽しいサロンを続けていけたらと思っています。

さあ、今日も「よつてみんそかい」！

車を乗り合わせて出かける花見、老人福祉センターの利用など、様々な内容を計画して実施しています。午前十時から始まり、会費三百円と米一合を持参して昼食を作り、みんなで食べて終わりになります。ちなみに、定番はカレーです。

会員の方々は、毎月のサロンを楽しみに待つていらっしゃいます。これからも、皆さんが明るく、元気に過ごせるように、笑い声のある楽しいサロンを続けていけたらと思っています。

一、今日はサロンだ いきもんそかい

ヨイヨイ

足腰引きずい

杖ついても

元気な源（みなもと）

顔合わせ

手足伸ばして

ニコニコと

サノヨイヨイ

二、出会った顔には 春が来た

ヨイヨイ

曲げて広げて 手をたたき

眠った頭も くるくると

歌も唄つて ボケ防止

サノヨイヨイ

三、ふんのかおごじょに よかにせどん

ヨイヨイ

野菜（やせ）づくいの 名人も

指折り お手玉 笑いジワ

明日の元気に よつてみんそかい

サノヨイヨイ

★市場サロンのうた  
「よつてみんそかい」

（炭坑節調）

作詞 三角徳子

◎高齢者ふれあいきいきサロン  
代表者連絡会  
二月九日、高齢者ふれあいきいきサロン代表者連絡会を開催しました。

八十七サロンから代表者など七十名が集まり、活動内容についての事例発表などを行ないました。  
高齢者ふれあいきいきサロンは、介護予防の観点から、高齢者の閉じこもり防止などを目的として開設されています。そのことから、どのサロンも独自性を持ちながら、レクリエーション、ゲーム、グランドゴルフ、健康教室など様々な内容を組み合わせて、月に一回程度実施されており、楽しく、賑やかなサロンになっているようです。



### ◎さつま町ボランティア連絡会

二月十九日、さつま町ボランティア連絡会を開催しました。  
ボランティアセンターに登録している、団体や個人のボランティア、二十八名が参加され、日本赤十字社鹿児島県支部より講師の方が来られ、赤十字活動や災害ボランティア活動など、様々な内容についての講演がありました。



### ◎さつま町民大会

二月二十一日、町民大会が文化センターで開催されました。  
上宮保育園児によるオープニングの後、表彰式典、各種発表があり、最後には、鍛山親方（元関脇寺尾関）による記念講演（私の相撲人生）がありました。



表彰を受ける宮田和子さん

また、いぬまき荘、更生保護女性会、さつま遊友会（女性団体）によるバザーや、各種展示、生涯学習の茶道教室による野立てなど様々な催し物がありました。

社会福祉関係では、社会福祉功劳者表彰で民生委員の宮田和子さんが受賞され、また、ボランティア団体のつきみ会による、福祉ボランティア発表もありました。



ボランティアグループつきみ会の発表



いぬまき荘、更生保護女性会、さつま遊友会によるフリーマーケットの様子



生涯学習講座、茶道教室によるお茶コーナー



**赤い羽根募金・歳末たすけあい募金**

今年度も、皆様方のご協力により、多額の募金を頂きました。ありがとうございました。

赤い羽根共同募金は、全額を鹿児島県共同募金会へ送金し、様々な地域福祉活動に使われます。

また、歳末たすけあい募金は、昨年の十二月に町内の各地区社協に分配し、生活困窮者等への見舞金品として使われました。

平成二十一年度の赤い羽根共同募金運動、ならびに歳末たすけあい募金運動の結果は、次のとおりです。

**チャリティー公演**

町社協が後援した、「華の会チャリティー舞踊会」と「稼木美優チャリティー公演」が、盛大に開催されました。

**「華の会チャリティー公演」**

華の会チャリティー舞踊会は、町内の六社中が一堂に会し、日本舞踊への造詣を深めてもらい、文化振興の一助になりたいという趣旨から、開催されました。舞踊会の途中で、華の会チャリティー舞踊会の代表川内優子さんより、社協会長へチャリティー益金が寄付されました。

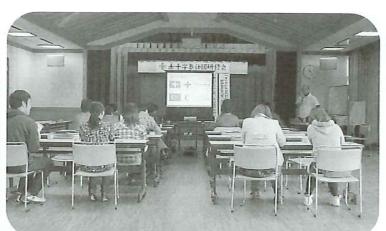
**「稼木美優チャリティー公演」**

稼木美優チャリティー公演は、デビューアー周年と、高校生時代をさつま町で過ごしたことを記念して、開催されました。

**赤十字奉仕団研修会**

十一月二十六日に、幼児安全法をテーマに、赤十字奉仕団研修会を開催しました。

この体験が、自分にとって貴重なものになるように真剣に取り組んでいました。

**柏原小学校福祉体験学習**

柏原小学校の四年生、十四名の児童が自分にできることは何かを、車いす体験や、高齢者疑似体験などを通して学習しました。

この体験が、自分にとって貴重なものになるように真剣に取り組んでいました。

**佐志小学校社会科見学**

佐志小学校の六年生、十名の児童が、社会科学習の一環として、ひまわり館の見学に来ました。



稼木美優さんのお二人から、社会福祉のために使ってくださいと、多額の寄付をしてくださいました。心から感謝いたします。

舞踊会の代表、川内優子さんと、

稼木美優さんから、社会福祉のために使ってくださいと、多額の寄付をしてくださいました。

稼木美優さんのお二人から、社会福

祉のために使ってくださいと、多額の寄付をしてくださいました。心から感謝いたします。

一般的な救急法と違い、幼児に対

しての救急法は、細かな処置が必要ということもあり、参加者は、真剣に研修に取り組んでいました。



## 社会福祉協議会の仕事

法人運営事業	ひまわり館運営事業
心配ごと相談事業	老人福祉センター運営事業
共同募金配分事業	生活福祉資金貸付事業
ボランティアセンター事業	法外援助資金貸付事業
ふれあいきいきサロン事業	近隣保健福祉ネットワーク事業
居宅介護支援事業	障害者相談支援事業
訪問介護事業	墓守サービス事業
訪問入浴介護事業	介護用品販売事業
福祉用具貸与事業	住宅改修事業
障害者訪問介護事業	一般乗用旅客運送事業
在宅介護支援センター事業	共同募金活動
福祉給食サービス事業	日本赤十字社活動

さつま町社会福祉協議会では、様々な業務を行っていますが、皆さんが、あまり知らないこともあると思います。そこで、もっと知つてもらうために、今回から業務内容について紹介していきたいと思います。現在、取り組んでいる事業は、次のものなどがあります。

今回は、共同募金配分事業と訪問入浴介護事業を紹介します。

### ◎共同募金配分事業

共同募金活動で集まつた募金は、鹿児島県共同募金会へ全額送金されます。

それを、県が一括管理して、県内の各市町村社協・福祉施設・福祉団体などに配分したり、災害時の見舞い品などの物資購入代金に充てられたりしています。

さつま町社協には、前年度募金額の約六十%が配分され、次のような七つの事業に使つています。

#### ・無料法律相談事業

年四回、法律関係の問題を抱えた方を対象に、弁護士相談を実施

#### ・紙おむつ支給事業

年一回、紙おむつを使用している高齢者や障害者（児）に紙おむつを支給

#### ・九十歳到達祝い事業

各地区の敬老会への助成

#### ・敬老祝い事業

九十歳到達者に祝い品を贈呈

#### ・地区社協育成事業

二十地区社協への活動費助成

#### ・さつま町民大会開催事業

町民大会を町と共同開催する経費

#### ・男性の料理教室開催事業

概ね六十五歳以上の男性を対象に、料理教室を開催



### ◎訪問入浴介護事業

町内では、唯一の訪問入浴介護を実施しています。

寝たきりや身体の障害等で、入浴が困難な方のためのサービスです。

ご自宅に訪問入浴車で伺い、専用浴槽を部屋の中に設置して、看護師・介護職員・オペレーターの三人体制で、安全な入浴を行ないます。

看護師による、血圧、脈拍、体温測定などを行ない、体調の安全を確認してから、サービスを実施します。

ご自宅で、安心、安全に入浴ができますので、ぜひ一度、ご相談ください。

介護保険でのご利用で、一回の利用料金が、千二百五十円（個人負担分）になります。



### 【ひまわり館フリーマーケット 出店者募集】

毎月第4日曜日に、ひまわり館にて開催。  
10時から15時、出店料は500円です。  
希望者は、事務局にご連絡ください。  
また、皆さんのご来場、お待ちしています。

### 問合せ先

さつま町社会福祉協議会  
さつま町宮之城屋地2117-1  
TEL 52-1123 / FAX 52-1148

### 【墓守サービス事業 利用者募集】

墓守サービスを始めました。  
皆さんの代わりに、町内にあるお墓の掃除、献花を行ないます。  
ぜひ、ご相談ください。  
料金は、コースにより異なります。  
14,400円～124,400円  
(年2回) (週1回)

# わが街のふくし

柏原地区社会福祉協議会

会長 河野武雄

平成22年3月発行

## さつま町ふくし

柏原地区は、さつま町市街の中心地から国道二六七号を北に、直線距離で二・五kmの位置にあり、地図上では、さつま町の中心点になるようです。その中心部には、柏原小学校・町営グランド・さつま農協柏原支所・柏原簡易郵便局・柏原温泉・農産物直販の自慢館があり、活気を呈しています。

地勢は平坦地で、中心部を横断して流れる夜星川が、右端の川内川に合流しており、広い水田と畑地が開ける農村地帯です。

地区は、八公民会で世帯数六百戸、人口千五百六十七名（平成二十一年十二月現在）であり、高齢化率は三十四%で、町平均より約一%低い状況です。

柏原地区では、柏原区協議会（役員会）の理解と協力の下に、地区社会福祉協議会が住みよい社会を目指して活動をしています。

### ◎ふれあいきいきサロン

八公民会全てに、サロンができるおり、健康体操・料理教室・旅行・歌や踊りなど、各集落のサロンで特色ある取り組みをしています。

最近の世相を考える時、非常に「わがまま」が進み、他人への「おもいやり」が薄れているのではない

### ◎投稿を終えて

の機会が増えたことや、また、機械化が進んだことで、一家の内で仕事を握・見守られる人の確認・声かけ運動の実践に努めています。

### ◎敬老会の開催

敬老会は、区協議会（役員会）の主な行事として、民生委員・公民会の役員・婦人連絡員の方々が中心となり、柏原小学校の体育館で行なっています。式典、記念品贈呈の後に、小学校児童が祖父母への感謝の作文や歌、太鼓などの披露を行ない、また、その後には、五つ太鼓や演歌の披露などもあり、大変賑わいます。



### ◎近隣福祉ネットワーク

民生委員・公民会長・アドバイザー等の連携で、要援護者の実態把握・見守られる人の確認・声かけ運動の実践に努めています。

### ◎地域行事への参加

柏原地区は、町の中心部に近いこともあり、一部においては混住化が進んできつつあります。そのような中で、住民が長きに亘り築いてきた連帯感を維持するために、区では、小学校との合同運動会を始め、特産品祭りや青少年育成町民会での餅つき大会に、高齢者クラブの方々が積極的に参加しています。また、小学校児童の安全を守るために、登下校時のパトロールにも努めています。



餅つき大会では、小中高生とその保護者が参加して餅つきを行なうのですが、そこに経験豊富な高齢者クラブの方々が参加して指導することで、特に力を發揮してもらっています。出来上がった餅は、小学生が手紙を添えて、一人暮らしのお年寄りに配っています。

先に民生委員の方々との連絡会に臨んだことがありました。委員の方は、一生懸命に福祉のことに努めておられます。委員の方の活動を理解し、協力することが、福祉の向上に繋がっていくのではないかと思います。

社会福祉に関して、地域住民がより一層の関心を持つていくことが、やがて、自分たちの将来、ひいては地域の安心、安全な社会の構築につながっていくのではないかでしょうか。この役目を果たしていくのが、社会福祉協議会です。これからも、地域住民の一層の理解と協力が必要と考えています。

私たちが知る範囲では、田舎（地方）では農作業ひとつをとつてみても、周囲の皆で協力して行なうことによって、自然と親睦と融和が培われていました。

せん。



## わが校のボランティア活動

さつま町立宮之城中学校

本校は、現在、一年生一〇七名、  
二年生一一七名、三年生一二三名、  
計三四七名の学校です。



毎朝のあいさつ運動

また、授業前の『朝の読書』も、本校の伝統の一つです。八時一五分から二五分まで、たつた十分間ではあります、水を打つたような静けさの中で一日（朝の読書）が始まります。全職員も、各教室で本を片手に短い時間ではありますが、生徒とともに落ち着いた雰囲気の中で、読書に勤しんでいます。

わが校のボランティア活動としては、生徒会役員や、三年生を中心と

こうしたボランティア活動に参加した生徒の一人は、「募金活動では多くの募金が集まりました。これは地域の人々のより良い日本、地域をつくつていこうという願いの表れだと思います。こうした方々の存在が、住みやすい国、地域をつくることに



## 振り込め詐欺撲滅運動

昨年八月二三日に実施されたPTAバザー（百縁祭）に、PTA事業部員一二名教職員四名の他、生徒会長を始めとし生徒六名も協力しました。事前のバザー会場設営から、物販売、最後の後片付けまで積極的に活動しました。訪れたお客様へ



## ほのぼの苑での交流活動

## ●編集後記●

1月の大雪にはビックリしましたね。まさか、あんなに降るとは、予想外でした。

でも、雪って、なんかいいですね。童心に帰れるというか、嬉しくなりますね。でも、仕事の上では、業務に支障をきたして、大変なんですよけど、たまに降るには、いいですよね。

今号を発行するにあたり、協力いただいた皆様方に感謝 (工)

《緝集未昌》

『編集委員』  
松下 正人 (屋地)、桑波田敏光 (屋地)  
甫立ミヨ子 (虎屋) 有馬 崑造 (社協)

いっては毎年 夏休み期間を利用し  
て、特別養護老人ホーム等で慰問活  
動を行っています。

今年は、湯田のほのぼの苑を訪れ  
て、お年寄りの方々とコミュニケー  
ションを図つたり、折り紙を折つた  
りして、交流を深め、思いやりの心  
や、感謝の気持ちの大切さを学びま  
した。

も明るい笑顔で接するが、一時間半で完売するほどの盛況ぶりでした。紹介したボランティア活動以外にも、赤い羽根共同募金や、福祉体験学習等も実施しています。今後も、生徒一人一人に『奉仕の心』を育みつつ、日々の教育実践に努めたいと思っています。



## PTAバザー百縁祭の様子